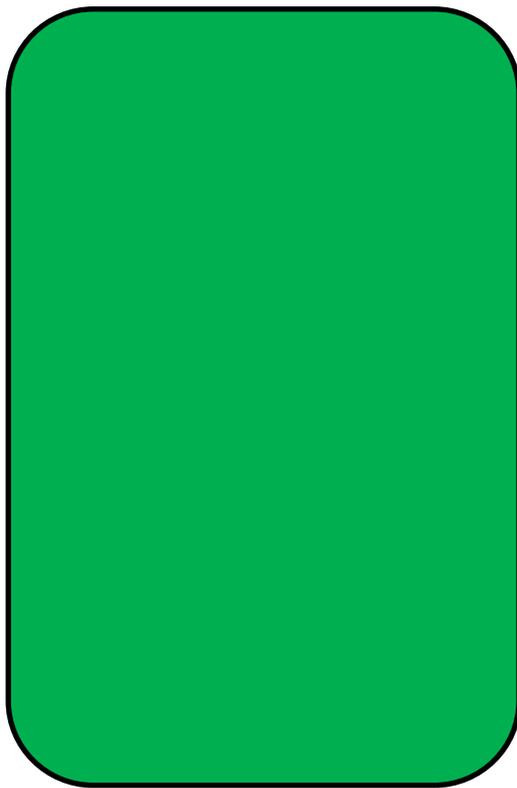


# グリーンカード

日本小学生バレーボール連盟の根底の考えは、バレーボールを通して子供たちの健全育成を支えていくことにあります。また、奈良県小学生バレーボール連盟においても前述の考え方に賛同しています。ルールやマナー、スポーツマンとしての心得などをしっかりと身につけた良いプレーヤー・よい人間を育てていきたいと思っています。そのためには、子供たちの好ましくない行為を指導するだけでなく、フェアプレーや善い行いは賞賛し広めていくことが大事であると考えています。グリーンカードを用いて、みんなが善い行いでつながっていきましょう。

「それは 善い行動である」と子供たちに伝えるのがグリーンカードです。

## グリーンカードを持つのは 大会役員、審判員です。



< グリーンカード >

### コートの上で

- 審判員は試合中の子供の行動を評価する。
- 例1 ミスをした選手に対して、積極的に励ましの声かけをした。
- 2 不利な判定になる場合でも、正直に自己申告をした。
  - 3 点差や状況にかかわらず、最後まで全力でプレーをした。
  - 4 判定を素直に受入れ、終始フェアな態度で試合を終えた。

### 使用するタイミング

- 選手に対して
- ・判定終了後、左手で選手を示し、右手でカードを示す。

### コートの外で

#### 大会役員、審判員、指導者が協力して子供たちの行動を評価する

- 例1 礼儀作法など、基本的な習慣が他のチームの模範になる。
- 2 ラインジャッジなど、補助員の役割に真剣に取り組んでいる。
  - 3 会場のゴミを拾うなど、施設や用具を大切に扱っている。
  - 4 チームのためにボール拾いや応援を頑張っている。

### 使用するタイミング

- 適切なタイミングで使用し、子供たちにフェアプレーの大切さを伝える。

(※)

このグリーンカードがチームや個人に掲示されたとしても、当該チームの試合中の得点に反映されるということはありません。また、グリーンカードの獲得数が多いという理由で奈良県小学生バレーボール連盟から表彰を行うことは現行として、考えていません。

子供たちの健全育成の1つのツールとして、また、生涯バレーボールに携わる際にルールだけでなくマナーを備えたプレーヤーになってもらうことを目的とし、奈良県小学生バレーボール連盟はグリーンカードの取組みをこれからもすすめていきます。